



お経の始まりは「如是我聞」(かくのごとく我聞きけり)という言葉で始まります。つまりお経はお釈迦さまが書かれた「ことば」ではなくて聞きとめた人が、その教えを「かくのごとく聞きました」と「ことば」にして伝えられてきたものです。

つまり経典はお釈迦さまの教えを人間に与えられた言葉という手段を使って、普遍的なものにされたわけですが、私たちはこの「ことば」を通して、突き詰めて言うならば「自己とは何ぞや」、を掘り下げ吟味して、歩みの手がかりとしてきたものだと思うのです。道元禅師が、「仏道を習うというのは自己を習うなり、自己を習うというのは、自己を忘れるなり」と言われてはいますが、この道は実に困難な道だと思われるのです。それは「我執」によって私自身が見えなくなっているからなのです。たとえお釈迦さまのことばであっても、自分の経験の範囲内、自分の興味関心の域を出ない聞き方しかできないという、悲しい現実が私たちにはあるからなのです。

親鸞上人が仏道を求め続けられた最後の自覚は、「罪悪深重」、「地獄は一定すみかぞかし」という厳しい受け止めでした。しかし、だからこそ、そこに本願念仏の開かれた明るい世界に出遭われていく機縁になったのだと、承知されてくるのです。「雑行を棄てて本願に帰す」と。

## インタビュー

### 町人会は人も人もあつきました

ユイ

先日、すのまたまちづくり倶楽部「の会長である田井 豊さんに、この倶楽部の活動についてのお話を聞かせていただく機会がありました

会員数は三十名、平成二十年三月に設立されたボランティア団体として、「この地域のまちづくりを自ら考え、自ら実践し、活力あふれた魅力ある住みやすい地域にする」ことを目的として活動している、というお話でした。

活動内容はあじさいの育成管理やあじさい祭りの実施、墨俣地域の清掃活動、名所等の案内看板の整備、さらには各種地域活動への協力まで幅広く活躍されているようです。

とりわけあじさいの管理、あじさい祭りには「尽力をいただき、現在では桜とともに墨俣を代表する花として、町に活力をあたえようとしています。時季になると各ご家庭の玄関先には鉢植えのあじさいが置かれ潤いのある町を印象づけられています。

また犀川堤、さく川さくら公園、墨俣小学校に合わせた6000本ほどの植栽されていて、訪れる観光客の心を和ませようとしているようです。

これらの活動が大切にされていくことは、会員相互、町民の皆さんとの心の交流の場となるのが願われていくことだと思います。意外に知られていないようですが、小学生や中学生にも参加を呼びかけ、ともに剪定作業が行なわれていくことだと思います。あじさいを通して命を育む心や、奉仕の心を学べる機会があることは将来を担う子供たちにとっては貴重な経験であり、精神的財産となっていくのではないのでしょうか。

本当の意味で町全体を活性化するためには、まずは心の活性化「心が望まれることの熱い思いが、地道な活動ではありますが、着実に実を結んでいるように思われました。

間もなくあじさいの時季となります。町づくりの思いをくみ取り見守るあじさいの花は、またひとつ味もふた味も感慨深く美しく見られるのではなごうでしょうか。

は、またひとつ味もふた味も感慨深く美しく見られるのではなごうでしょうか。



# 他力に生かされる

ST

今、仏教が静かなブームになっている。

書店へ行けば、仏教に関する本が多く並んでいる。

マスメディアでもお寺を紹介したり、お坊さんを出演させたりして番組を制作するといことが増えている。新聞で親鸞を連載した五木寛之氏は、当然や親鸞が広めた浄土教の他力思想こそ現代社会において世界に誇れる日本独特の思考法だ」と言っている。

他力、または他力本願といふこと、他人任せといふことの意味で使われることが多いが、実はそうではない。阿弥陀如来にお任せ」といふのが正しい意味である。

人間は自分の人生でありながらも、思うように生きていくことはなかなか難しいものだ。それは私の存在そのものが、自分の思いやほかに超えた様々な縁によつて生かされているといふことがあるからなのだろう。それを自分の思い通りに生きようとする、愚痴や不満ばかりとなり、自分を苦しめることになる。人間には自分の意思だけではどうすることもできない煩悩といふものがある、自分の思いから離れることは決して出来ないものだ。

しかし、そういう自分、人間であるがゆえに、仏は憐れみをもって南無阿弥陀仏に願いを込められ、み名称をゆるぎなく助かして、道を指示して下さる。自力無効、お任せする、人生を明るく、感謝の思いをせしめ生かして下さる、思いは叶う。

## 役員交代

長年にわたって会計監査としてお世話いただきましたH.M.の引退のお申し出を受け、二十七年年度以降の役員の選定をいたしておりましたが、役員会において西町、シヤにお願ひするに同意いたしました。よって本年報恩講総会において正式承認していただく予定をいたしておきます。

### 緊急のご連絡とお願い

昨年の除夜の鐘には、撞木の吊るし紐が外れ、修復ができずに中止になりました。考えてみますと吊るした撞木による怪我がよくなかったものだと、いまさらながら安堵いたしております。数年前には鐘楼の階段で転ばれて手に怪我をされたといふことがございましたが、幸いにも軽症で済んだことは、何よりでした。

今回の事故により、より安全の確保の必要性を痛感いたしました次第です。当寺の階段は大正時代に組まれたものらしく、かなり傷みがひどくなっております。今後のままですと、階段の上り下りには危険が伴うことが容易に想像できますので、急ぎよ総代会を開き、修善、修復させていただきますことになりました。

本来ならば光受寺総会に予算化し、皆様にお諮りしなければと思っておりますが、本年除夜の鐘には、間に合わさたことと思っておりますので、あらかじめご理解いただきましてお願い申し上げます。



傾き、崩れかかっています。



## 光受寺の紫陽花もきれいですよ。

時季になったら

ぜひ



見に来て  
くださいね。

四十種類以上植えられています。

## 五月のおまつり

五月九日 土(午前七時半～  
学習会

五月九日 土(午後七時～  
八時半

お勤め 正信偈 同朋奉賛  
法話 菴院(二十分

お文に学ぶ

お茶を飲みながら、歓談を  
いたします。

